

2022 年(1月1日～12月31日)活動報告

動物実験計画書の年間の承認件数

	新規	変更	軽微変更	計	計画数 ^{※1}
医学部	41	2	18	61	157
医学部附属病院	13	1	4	18	39
バイオメディカル研究所	29	2	11	42	88
農学部	29	0	13	42	92
繊維学部	41	0	31	72	59
理学部	2	0	0	2	3
基盤研究支援センター	7	1	16	24	25
計	162	6	93	261	463

※1:2022年より前に承認された計画も含み、2022年中に有効な承認期間が存在する実験計画の総数

施設の情報(機関の長によって承認された飼養保管施設および動物実験室)

飼養保管施設

	新規	廃止	総設置件数
農学部		2	15
繊維学部			2
基盤研究支援センター 動物実験支援部門			38
計	0	2	55

動物実験室

	新規	廃止	総設置件数
理学部			1
医学部	1	3	32
農学部		3	17
大学院農学系研究科			1
繊維学部			7
基盤研究支援センター 動物実験支援部門			29
基盤研究支援センター 遺伝子実験支援部門			3
基盤研究支援センター 機器分析支援部門		1	1
計	1	7	91

動物実験計画審査所要日数

最長所要日数 666 日
 最短所要日数 2 日
 平均所要日数 29 日

※研究支援課で受付した日～承認された日までの間

小委員会開催回数

医学系動物実験小委員会 67 回 (内訳: 新規・変更 25回、軽微変更 42回)
 農学系動物実験小委員会 27 回 (内訳: 新規・変更 21回、軽微変更 6回)

教育訓練の実績(実施月日、実施内容の概略、参加者数)

- 実施内容の概略:**
- 1) 動物実験における注意点(動物倫理など)
 - 2) 信州大学動物実験等実施規程について
 - 3) 実験計画書など各種申請書類など(事務手続き)
 - 4) 施設利用法について
 - 5) その他

松本キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(施設利用 講習会含む)	13	94	1/26, 1/27, 4/4, 4/25, 4/26, 4/28, 5/12-13, 7/5, 7/26, 7/28, 10/25, 10/27, 10/31
教育訓練(再講習)	12	158	2/9, 2/18, 3/28, 4/11, 5/11, 6/16, 7/13, 8/26, 9/21, 10/20, 11/11, 12/27
SPF区域講習会	6	8	2/9, 4/14, 5/16, 7/20, 8/8, 11/7
感染区域講習会	0	0	

伊那キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(再講習、施設 利用講習会含む)	11	96	4/11, 4/14, 4/28, 5/10, 6/16, 8/5, 9/21, 10/26, 11/1, 11/4, 11/24

上田キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(施設利用 講習会含む)	6	24	1/26, 4/26, 4/28, 7/26, 10/25, 10/27
教育訓練(再講習)	3	8	4/11, 5/11, 6/16

基盤研究支援センター動物実験支援部門 施設利用状況

集計年： 2022 年 (1月1日～12月31日)

年間延べ入館者数： 17678 人 (システム不具合により7・8月分除く(参考:2021年7・8月:3552人))
 利用登録者数： 525 人
 施設見学者数(合計)： 62 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	2706
ラット	1113
モルモット	7
ウサギ	41
ブタ	0

動物飼養数

動物種	数
マウス	10620
ラット	221
モルモット	4
ウサギ	1
ブタ	0

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	43394
ラット	1661
モルモット	7
ウサギ	45
ブタ	0

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	1	31	73	204	309
割合(%)	0.3	10.0	23.6	66.0	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に、耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

参考：「実験動物」には該当しない実験計画で用いている動物や試料

カテゴリーA = 食用豚の頭部を入手して用いる計画 1件

魚類 = ゼブラフィッシュを用いる計画(カテゴリーC) 1件

定期検疫検査

SPF区域 4回

普通区域 4回

検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

SPF区域 0系統

普通区域 6系統

検疫結果はいずれも陰性

胚操作業務

体外受精・胚移植
(クリーニング) 0件

体外受精・胚移植
(系統維持) 3件

胚凍結/融解 5/5件

遺伝子改組動物作製
(CRISPR/cas9) 1件

精巢上体尾部採取 0件

精子凍結 3件

農学部 飼養保管施設利用状況

集計年： 2022 年（1月1日～12月31日）

動物実験者数

教員	19 人
大学院生	52 人
学部学生	104 人
その他	7 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	1290
ラット	86
ニワトリ	980
ニワトリ(胚)	55
ヒツジ	0
ウシ	0
ヤギ	2

動物飼養数

動物種	数
マウス	1135
ラット	46
ニワトリ	356
ニワトリ(胚)	0
ヒツジ	27
ウシ	55
ヤギ	7

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	3776
ラット	88
ニワトリ	954
ニワトリ(胚)	55
ヒツジ	0
ウシ	0
ヤギ	0

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の 카테고리に関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	33	34	25	92
割合(%)	0.0	35.9	37.0	27.2	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

定期検疫検査

4 回

検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

0 系統

繊維学部 実験実施状況

集計年: 2022 年 (1月1日～12月31日)

動物実験者数

教員	7 人
大学院生	14 人
学部学生	49 人
その他	0 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	320
ラット	78
緬羊	0

動物飼養数

動物種	数
マウス	805
ラット	92
緬羊	56

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	1,132
ラット	244
緬羊	0

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	7	32	20	59
割合(%)	0.0	11.9	54.2	33.9	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えられる実験)は承認されない。

定期検疫検査

2 回

検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

14 系統

検疫結果はいずれも陰性

理学部 実験実施状況

集計年： 2022 年（1月1日～12月31日）

動物実験者数

教員	2 人
大学院生	0 人
学部学生	1 人
その他	0 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
ラット	8

動物飼養数

動物種	数
ラット	0

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
ラット	8

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	1	2	0	0	3
割合(%)	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に、耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えられる実験)は承認されない。

参考：「実験動物」には該当しない実験計画で用いている動物や試料

カテゴリーA = 野生下で自然死した哺乳類の死体を用いる計画 1件

野生動物 = 野生のニホンザルを用いる計画(カテゴリーB) 1件